

---

# **普通の.....**

究極神団・零

---

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

普通の……

### 【著者名】

究極神団・零

### 【あらすじ】

僕は普通の中学生一年生…………、そう、普通の……

## プロローグ（前書き）

えーと……

ちょっとした学園物です

暇潰し程度に読んで頂ければと……

## プロローグ

此處は

とある場所のとある学園

「ふあ……」

僕、ゆうがみかいと悠神海斗（ゆうじんかいと）はこの学園に通つ普通の中学生一年生……

そう……、普通の……

「おい海斗、

また来た……

このちよっと太った人は榎吾朗（えのきごろう）、いわゆる虚めつ子だ

「バナナ買つてこ」「やだ」……

なんでバナナなのか分からぬいけど何時も僕をパシリにする

「ツ！ お前、どうなるか分かつてんだろうなつ！」

吾朗が僕の胸ぐらを掴む

「其はこいつの台詞だよ…………」

何時も普通に搔い潜つて逃げるんだけど…………

もう流石こうござつしてきた…………

めこじへそこからうつとお仕置きしようとい…………

「お前なんか…………、 じつだつー…………」

僕を右の拳で殴りうとする

「ハイハイ…………」

僕は指をパチンと鳴らす

すると吾朗の動きが止まる

いや、吾朗だけじゃない

回つの監も、落ちる木の葉も、揺れる花びらも、風も、時計の針も

そう、時間が止まったのだ

僕は今之内に吾朗の後に回り込んでまた指をパチンと鳴らす

「…………？」

吾朗は今さつきまで田の前に居た筈の僕が居ない事に拳を止める

「お休み…………」

そして僕は吾朗の首の後ろを強く叩く

「がはつ…………」

そして吾朗は…………、氣絶した

「ふつ…………、放課後だからいいものの…………、放課後じや無かつたら…………」

そう、今は放課後

だから回りには人は殆ど居ない

まあ吾朗は此所に放つて置いても問題はないかな…………

さあ、帰ろうつと…………

お分かりの通り、僕はほんの少しだけ、時間を操る事が出来る…………

普通の中学生一年生.....

普通だと、信じたい.....

## プロローグ（後書き）

感想、評価待つてます

うん 普通かな 普通だな 普通 （前書き）

はつきりとしたストーリーは決まっては無いです

でもたつた一つだけ

ただひたすらに普通を求める話です

まあ主人公自体が普通じゃ無いですが……

うさ 普通かな 普通だな 普通

帰り道

「今日も平和だなあ

思いつきついで伸びをして身体をなじす

「…………うし」

なんか身体がポキポキ鳴っている

まあ普通だわ

「しかしまあ…………、眠い」

今が春だからか?  
なら普通か

「速く帰つて寝よう」

うさと足早に歩道に向かった

だがそんなに甘くは無かつた

「んだ餓鬼イ？」

「何処に眼えつけとんじや ワレエ！」

- 1 -

八  
ア

なんで不良がたむろつてるかなあ……

全然普通じゃない

「こちまへだ行かア！！」

ひい、  
ひう、  
みい

三人か

ちょっと面倒だけど

「逝ねやあ！」

「ハイハイ」

僕は指をパチン、と鳴らす

そう、時間を止めたのだ

「…………サヨナラ」

動かない不良達に一発ずつキツイ一撃をぶつけこんで再び指をパチンと鳴らす

「…………」「…………」「…………」「…………」「…………」

不良達はさっきまで僕が目の前に居たのに消えたと思ったらしく探そうとした束の間謎のダメージを受けてその場に倒れる

「逝くのはそっちだつたみたいだね…………」

僕は吐き捨てるよつに不良達にそつまご血毛に向かって歩き出した

「只今～」

やつと家に着いた…………

速く自分の部屋に…………

「遅ーい！」「

「へふっー..」

僕は突撃してきた幼馴染み、史城澪に玄関まで吹き飛ばされる

「私がどれだけ待ったのか分かってるの？！」

「…………」

僕は痛む身体をゆっくり起しおながら澪に向つ言つ

「どれだけって…………、まだ十分も経つてないぞ」

しかも何回か時間を止めたから余計に時間は経つていな

だが、

「遅いものは遅いの！」

滅茶苦茶だろ…………

絶対普通じやない…………

「…………寝る」

相手にするのが面倒だ

僕は澪を放置してそそくさと自分の部屋に向かい鍵を閉めた

澪が入つて来ないよう

「やつと眠れる…………」

枕の上に頭を乗せた瞬間

なんか物凄い音がしたと思ったたら、澪が扉をぶち壊して入ってきた

なんて事をしてくれる

「…………普通じゃなーいぞ」

僕はそう呟いて布団を被り眠る

あれ？

何時もなら「起きなさいーー！」とか言いながら布団を捲る筈…………、  
そう言えば足元に違和感が…………

「…………？」

足元を見ると

「今日は私も一緒に寝るー！」

「……

なんてこつた俺は普通に一人で寝たいんだ

大体男女が一つ屋根の下で一つの部屋で一つのベッドで一緒に寝る  
つて……

「全然、普通じゃない……

とつあえず一つ言わせて欲しい

扉弁償して

うん 普通かな 普通だな 普通 (後書き)

感想、評価待つてます

普通の時を下せこ.....変態が.....変態がああああ.....（前書き）

よくよく見ると一人称が定着してなかつたといつ（汗）

久しぶりの更新です（汗）

何故か半分近くが殆どネタといつ（汗）

では.....どうぞ

普通の時を下せこ…………変態が…………変態があああ…………

しかしまあ改めてよく考えてみたんだが、

確實にコイツ……不法侵入だよな

だつてこの家には俺以外住んで無いし鍵も俺が持つてる一つしか無いし……いつたいどうやつて忍び込んだんだ？ 隠し通路でも作って其所から侵入したのか？ まあビリでもいいがまず一つ……

「帰つてくれ

うん。この一言で死せるな。うん

後扉も弁償しろ。なんか落ち着かんからな

「やだ〜」

「いいから帰れ

「一緒にいたいの！」

……相手をするのが面倒になってきた。ああ、胃が痛い。頭も痛い。

心も痛い。

心は嘘だが胃と頭まажだ。

誰か……変わってくれ……

…………そしてトイレ…………

そつ言えばそろそろエイプリルフールが近付いて来てるみたいだな。  
なにやら色々と嘘つきグッズなるものがよく販売されてるのを見かける。  
まあどうせジックリ箱とかその辺りだろつな。そんな事よりも俺はこの現実が嘘だと言つて欲しいがな。

あの後トイレに駆け込み踏ん張る事5分、ただ時間が無駄になつただけだった。

トイレから出た俺はちゃんと水と石鹼で手を洗い自分の部屋に向かつた。今度こそアイツに帰つて貰おうと思つて部屋に入つたら

……皿のやつ場に困つてゐる

何故ならば

「なにがどうなつたら下着姿になるんだ……」

この5分の間にいつたい何があった？ 知りたく無いが気にはなる。  
てかわざとなのか？ わざとなんだな？ 俺を困らして楽しむ為に  
やってるんだな？ そなんだな？

「んあ……」

つーか起きる、服を着る。やつぱり起きる前に服を着る。そして帰れ

「むにゅ……かいとあ……」

……なんだ寝言か、脅かしやがつて

「もつと構つてよ……むにき……」

……よし。布団に丸めて棄てよ。コイツ  
なんつー夢見てんだお前は。変態か？！ 変態な  
んだな？！ とりあえずお前はお外にぼーいだ！ もう確定事項だ  
！ 行くぞ？！

「ん……？」

「こんな時に起きんなああああ！ 明らかに誤解を招く状況じ  
やねえか！ 墓穴なんて掘りたくねえ！」

「お、お前が悪いんだから！」

俺は悪くない。何も悪くない。俺は只の中学生だ

「かいとお～」

だあ―――！

いい加減してくれえええ！

ホンツトになんなんだお前はあ？！

てかやべえよ！ 人が来ちまつた！

どうすればいい？ ビーすんのよ？ ビーすんのよ俺？！

否、答はひひとつー。

「ザ・ワールドー。」

……ハア、此でなんとか。今の「ひ」……

……おぐがパクリじゃないぞ？！　ただこの言葉が閃いたんだ！  
誤魔化す為の言葉が！

だから俺は例によつて例の如く時を止めた。今の「ひ」だけしかせ  
ねば……

もうホンシトに頼むから……普通に平凡に暮らしやせてくれ……

速く今日とこいつが終わってくれ……

学校が安息の地つてなんなんだ……

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2260j/>

---

普通の.....

2010年10月9日03時53分発行